

U-Home

U-Home

だより

〒708-1222
岡山県津山市西中 329-1

株式会社 **U-Home**

TEL 0868-36-4372

FAX 0868-36-4498

✉ u-home@mx1.tvt.ne.jp

第 70 号

この冬は近年にないほどの寒い冬だったような気がします。
2月も末になってやっと暖かいと思える日も出てきました。
しかし、梅も菜の花もどこにも咲いていませんでした。
今年は花がずいぶん遅れそうと思っていました。

3月に入っても、体感的にはそれほど暖かいと思える
ほどの日はなかったと思いますが、全国的には異常と言
える程の平均気温の高さを記録したそうです。

3月末には、はや桜の便りが届き、史上最速の開花や
満開をあちこちで記録しました。このあたりでも、3月
末から4月初めは異常に暖かく、いろんな花が一斉に咲き
なんかあわただしい感じすらします。

春の好季節は別れと出会いのシーズンです。希望に満ちた、あるいは不安でいっぱい
の第一歩を踏み出している若者を思うと、何やらウキウキするような、そして甘酸っぱい
ような気持ちになります。

ところが当の私と言え、前号で言った通り還暦であります。
言わずと知れた「厄年」であります。ほとんど信仰といった概念はないのですが、厄年だ
と言われれば多少は気になるところです。なぜか神社の方に足が向きます。

私の住む地域では、地域内の一部の家庭が集まる「お大師講」というのがあります。一般
的に「お大師講」とはおそらく、『毎月21日の弘法大師（空海）の入定の縁日に行われる真
言宗の信者の講会』のことだろうと思います。私は新参者なのでいきさつは知りませんが、
私の入っているお大師講では、毎年正月に地元神社「天穂日神社」（天穂日神社については「ユ
ーホームだより第43号」に詳しく書いていますので、興味のある方は読んでみてください。）
の神主さんを招いて、講内家族全員の名を一人一人読み上げお祓いをします。加えて厄年の
人は特別に厄払いをしてもらいます。これで今年一回目のお祓い。

岡山に住んでいる娘も厄年なので、待ち合わせて「由加神社本宮」にお参りしました。こ
れで2回目。

大阪の中心部に「サムハラ神社」という神社があります。非常に強力なパワースポットと
して有名な神社です。戦時中はこの神社のお守りを身に付けると、弾に当たらない「弾除け
神社」と呼ばれていたそうです。神字のためパソコンでは表記できない「サムハラ」とは、
無傷無病・延命長寿の神様のことです。『御神環』という指輪形の肌守が授与されていますが、

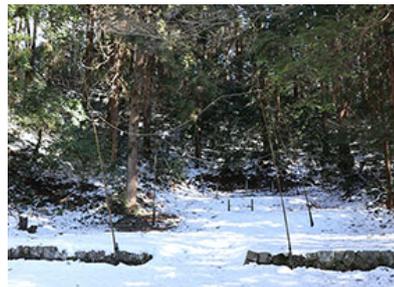


この『御神環』を指にはめることで、あらゆる困難や災いから守られるということで、SNSなどで若者を中心に異常な人気ぶりとなっています。ただ、この指輪は手作りとかで、生産量が非常に少なく、月に2回の入荷もたちまち売り切れらしい。かなり厳しい制約もあり、まず予約はできません。入荷日も不明。行って見てたまたまあったらラッキーといったところでしょう。サイズが指にあったものでないとダメ、チェーンなどに通してぶら下げるのもダメ。ご神体のためひとり一体限り、人にあげたりもらったりしたのは効力がありません。ましてや転売などもってのほかということです。

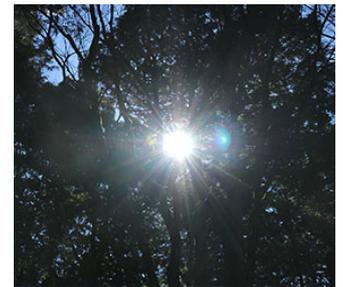


絶大なご利益があると人気の「サムハラ神社」ですが、その元は津山市加茂町にあったものを、昭和の初め加茂町にお住まいだった方が、大阪に移築遷宮しました。しかしもともと加茂の地にあったものだということで、荒れ果てていた神社を奥の宮としてよみがえらせたということです。サムハラ神社の奥の宮が津山市加茂町にあるということを知り、以前お参りしたことがあります。厄年ということもあり今年も行ってきました。

時は2月5日、山の中ということもあり雪が残っていました。参道は急な山の中にあります。車を道に止めて急な石段をしばらく登ると広場に出ます。正面に石の鳥居があり鳥居の左側に手水舎があります。広場の右手ずっと奥に結界を張った場所があります。なんだか神聖な感じのする場所ですが、ここは「古代の祭祀場」という事です。



結界の所



神様の撮影に挑戦してみました

木漏れ日からオーブやフレアが写真に写った時に、それがたまたま人のような形に見える場合には、それを神様の出現ととらえたり、神様が語り掛けてくると思っている信者の方がおられますが、おそらくただのレンズの反射ではないでしょうか？



恐ろしく急な参道の石段



金毘羅さん

そんなひねくれた考えをしているからお蔭がないんだと、信者の方にいわれそうですが・・・。



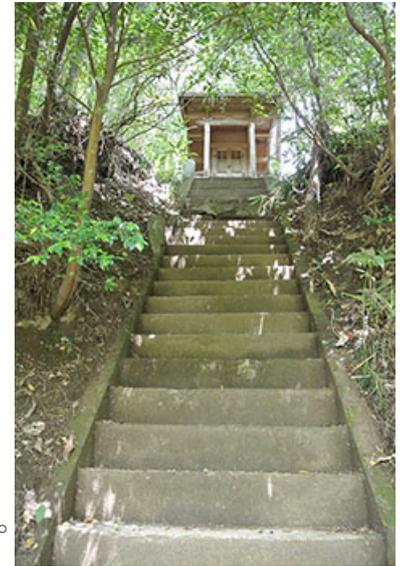
サムハラ神社

恐ろしく急な雪の石段を登って行くと金毘羅神社のある広場に出ます。金毘羅神社も必ず参拝しなければならない、というのでまず手を合わせました。その後左手奥にある「サムハラ神社」の方に向かいました。すぐに石の鳥居が現れます。実は、正面から参拝すると、恐ろしく急な石段を上らなければなりません。車道を奥に進み、グルッと回り込みますとここまで車

で来ることができます。

ここでの参拝は、まず裸足になりどうのこうの・・・というこだわった参拝方法があるらしいのですが、わからないので普通に参拝して終わりです。写真の通り、サムハラ神社は小さい社で、非常に新しく見えます。これは最近移築されたばかりで、本来は金毘羅神社に向かって右手の奥の方にあつたということです。

金毘羅神社の広場の右手奥に、東に向かって登って行く道があります。これを登ると町がこしらえた立派な展望台に行きつきます。登って行く途中に注意していないと見落とすほどの小径が右側に枝分かれしています。その道をたどって行くとちょっとした広場に出ます。広場から急な石段が北側に延びています。石段を登りきったところに小さい社があります。おそらくこれが昭和の初めに再興された元の「サムハラ神社」だと思います。今回は雪なのでこちらには寄りませんでした。写真は以前に行った時のものです。



実は、私だけではこの場所には行きつくことができませんでした。以前来た時に、金毘羅神社から東側（向かって右側）の小高い所にある鋼製の立派な展望台に上り、加茂の街を見渡し満足してから、金毘羅神社の西側（向かって左側）の移転されたサムハラ神社にお参りしていた時のことです。ひとりの参拝客が話しかけてきました。聞けば、ほぼ毎日参拝している地元の人でした。どうも会う人ごとに、この神社がいかにお蔭があるかをお話しされているみたいでした。東側に元の社があることも、中段の結界が張られているところでは、運が良ければ神様の姿を拝めることも、その方から聞いたことです。その方の勧めでとりあえず寄って帰った次第でした。

以前に訪れた時も他県ナンバーの車ばかりでしたが、今回も雪の中、他県の車が3台ほど訪れていました。一部の人には結構有名なんだと改めて思いました。

これが3回目の厄払い。これで終わりか？・・・いやいや！

先ほど、2回目の厄払いに「由加神社本宮」に行ったことをお話ししました。私は全く知りませんでした。岡山県倉敷の「由加神社本宮」と香川県琴平の「金刀比羅宮（こんぴらさん）」は両参りしてこそご利益があると信じられており、江戸の昔から全国的に有名だということです。ならば行かねばなるまい。

2月18日に出かけました。金比羅さんは、十数年前のこと真夏は過ぎたからもう大丈夫だろうと、9月末に出かけて大汗でひどい目にあいました。今回はまだ2月の中ごろ過ぎ、かえってこのくらい寒い方が良いのかもと、785段の石段の一步目を踏み出しました。

四国に来ると小学校の修学旅行のころの思い出が、いまだに断片的に思い出されます。小学校の修学旅行と言えば、定番の「屋島」と「金比羅さん」。4人でじゃんけんをして、負けた人に全員のリュックを背負わせ、金比羅さんの石段を登らせていたら、参道沿いのお店のおばさんに、「なんてかわいそうなことをするの！」怒られました。そりゃそうだ、はたで見たらどう見てもいじめにしか見えないものね。

参道に次々に現れる鳥居にはいろいろな標語が掲げられていました。

しあわせさん。こんぴらさん。

初詣一年の計は笑顔にあり。

けっこうおしゃれでいい感じです。

登っている途中に、野生のヤマガラ（小鳥）に餌をあげているおじさんがいました。しばらく眺めていると、一握りのひまわりの種をくれました。無言で動かないでいることが重要だと



いう事で、言った通りにしていると、なにも居なかったのにどこからともなくヤマガラが飛んできて、近くの梅の木で様子をうかがっています。長期戦になるのかと思いきや、あっさり手の上に乗りひまわりの種を取って行きました。貴重な体験でした。

785段の石段を上り切り、本宮に到着しました。聞くところによるとさらにこの奥に「奥社」があるらしいのですが、しんどそうなので本日はここで終わりです。

ちょうど石段の真ん中くらいのところ、「大門」という立派な門があります。門の外に露店でお茶などを売っているお店がありました。帰り道は楽でかえって少し寒いくらいなので、熱い甘酒を妻と二人で分け合いました。



上り始めてから参拝が終わり下りてしまうまで、わずか一時間半ほどで本日の予定は終了。

天気が良いので、瀬戸大橋のたもとにある瀬戸大橋記念公園に寄ってみました。立派な記念館の中では、瀬戸大橋がスゴイ建造物だという事を動く模型などで詳しく説明しています。会場の中ごろの広間で大きなスクリーンがあり、瀬戸大橋関連のビデオを選択できるようになっていました。誰も見てないので「プロジェクトX～挑戦者たち～」の『瀬戸大橋～世紀の難工事に挑む～』を選択しました。難工事の様子は興味深く、技術者の格闘は壮絶で、まばたきも忘れるほど画面に見入ってしまいました、が・・・気が付けば疲れで不覚にも居眠りをしてしまっていました。しっかり寝たおかげか金比羅さんのおかげか、帰り道は眠くならず帰ることができました。以上で4回目の旅行？じゃなく厄払いのお話しでした。



突然ですが、ユーホームのキャラクターができました。どうぞ皆さん可愛がってやってください。名前はまだありません。

ホームページもリニューアルしました。
「[uhome-tsuyama](#)」と検索してみてください。

